

「目覚め」——あなたはまだ「眠って」いる

への招待

2007年度
テラワダ
初期仏教一日体験会

「テラワダ仏教」って何？ ——幸福になる実践マニュアル

仏教は今からおおよそ二千六百年前、インドで悟りをひらいたお釈迦さま(ブツダ)によって説かれ、時代の流れとともに、さまざまな流派に分かれて全世界へと伝えられました。中国・チベット・朝鮮半島や日本には、お釈迦さまの死後、数百年経って成立した北伝の仏教(大乘仏教)が伝えられました。現在の日本仏教の宗派はすべて北伝の大乘仏教の流れをひいています。

一方、スリランカ・タイ・ミャンマーなどに伝えられた南伝の仏教は、お釈迦さまの教えを忠実に守るテラワダ仏教です。他に初期仏教、上座仏教、南方仏教などとも言われています。テラワダとは、パーリ語(古代インドの言語)で、“thera”「長老の」、「vāda」「教え」を意味します。その教えは、三蔵経典(パーリ語)に基づき、二千六百年の長きにわたって、比丘サンガにより正確に受け継がれてきました。

テラワダが伝えるお釈迦さま本来の教えは、単なる信仰の対象でも博物館に収める遺物でもありません。私たちが「正しく生きる」ために説かれた、驚くほど現代のかつ科学的な実践マニュアルなのです。

お釈迦さまは、すべての生命が苦しみを脱し、究極の幸福に到るための真理と実践法を説かれたのです。その教えが正しいか否か、疑問をもって検証する権利が万人にあります。テラワダ仏教で紹介しているヴィパッサナー冥想や慈悲の冥想といったブツダの実践法は、特別な環境や資金もいらず、人種や民族、宗派や宗教の枠を超えて、誰もが自ら実践して確かめられる究極の幸福への道です。ぜひその世界に触れてみて下さい。

ヴィパッサナー冥想とは

お釈迦さまが「悟りへの唯一の道」(大念処経など)として説かれた実践法。気づき(サティ)の実践によって真理を発見し、心の安寧と成長を体験できる確かな道です。

「ヴィ」とは「ありのままに・明瞭に・客観的に」、「パッサナー」とは「観察する・観る・心の目で見ると」という意味です。「今この瞬間の自分自身をよく観る」ということです。心地よいことでも不快なことでも、ありのままの体験を価値判断しないで、そのまま観るのです。葛藤をシャットアウトしたり、コントロールしようとして新たな問題を作るのではなく、ただ気づくだけ。それが観るといことです。それが苦悩を超える道です。安らぎが訪れ、心と体を癒すことになるのです。波立っている水面が穏やかになっ

てすべてを映し出すように、深い智慧と洞察力が生まれてくるのです。誰にでも簡単に実践できる、とても合理的な方法です。みるみるうちに心が成長して行く過程を、ぜひご自分で試してみてください。

三蔵経について

「初期仏教」の戒律(律蔵)、教義(経蔵)、そして教法に対する弟子の研究(論蔵)を取める大蔵経で、パーリ語で書かれています。テラワダ仏教国ではこの「三蔵」を以って「仏語」(ブツダが直接話された言行録)の集成と見なし、最も崇拜・尊奉されています。ブツダは「私が説いた教えと、私が定めた戒律とが私の死後、お前たちの師となるのである(大般涅槃経)」と説かれました。従って、ブツダの言葉を保存することは極めて重要で、仏教存続の鍵になるのです。ブツダ入滅間もなく、最初の「結集」が行われました。五百人の阿羅漢によってブツダの言葉が合誦され、記憶されました。こうして確定されたのが三蔵経です。さらに、ブツダの言葉を確認し、完全に保存していくため、2500年間に6回の結集が行われています。

第6回目の結集は、佛紀2500年(A.D1956)にミャンマーで行われましたが、直後に起こった政変に巻き込まれ、結集決定版と草稿を取り違える混乱が起きました。タイのダンマソサエティ財団はこのビルマ版三蔵経の混乱をただし、その他数カ国の様々な版のパーリ三蔵を調べ直し、最も正確なローマ字版パーリ三蔵を完成させました。第六結集の目的が十分に実現したのです。

講演会当日は、特別に装丁されタイ王室より贈られた、この第六結集ローマ字版パーリ三蔵経の歓迎式典と経典の展示が行われます。

ダンマソサエティ財団

タイ国仏教界とタイ王室後援のもとに、ビルマ版パーリ三蔵を底本にした最も完全に近い第六結集ローマ字版三蔵経(全40冊)を出版し、世界中の関係団体に寄贈を行っている団体です。日本では当協会のほかに、皇室・国会図書館・仏教系大学などに贈呈されます。



タイ王室より贈られたパーリ三蔵経典

テラワダ 2007年度初期仏教一日体験会(東京)

「目覚め」への招待 あなたはまだ「眠って」いる

2007年(佛歴2551年)9月15日[土] 入場無料 要予約

会場:オリンピック記念青少年総合センター カルチャー棟 大ホール(定員758名)

12:00 開場 / 12:30-13:00 タイ王室寄贈:三蔵経歓迎式典(自由参加※)

13:30-17:00 講演会・質疑応答 / 休憩 / 18:00-20:00 初心者冥想会

※講演会に申し込まれた方ならどなたでも、自由にご参加下さい。貴重な三蔵経を直接鑑賞して頂く好機ですので、奮ってご参加下さい。

予約方法:裏面(第4面)をご覧ください。

問い合わせ:日本テラワダ仏教協会 03-5738-5526

<http://www.j-theravada.net/>

主催:日本テラワダ仏教協会

協賛:駐日スリランカ民主社会主義共和国大使館

駐日タイ王国大使館、ダンマソサエティ財団

大阪講演と冥想会のご案内

ブツダの冥想実践会

[講師]アルボムッレ・スマナサーラ長老

2007年9月23日[日] 9:30~19:00

住吉武道館(大阪市 住吉大社境内)

[内容]講演会/冥想指導・質疑応答

[参加費]500円 座布団・昼食持参のこと

[定員]300名(先着・予約制)

[問い合わせ]アラナ精舎 072-427-6614(受付時間:12~21時)

[予約]<http://theravada.web.fc2.com/>

詳細は日本テラワダ仏教協会HP

<http://www.j-theravada.net/>

スマナサーラ長老 Ven. Alubomulle Sumanasara Thero

テラワダ仏教長老。1945年スリランカ生まれ、13歳で出家得度。スリランカの国立大学で仏教哲学の教鞭をとった後、80年国費留学生として来日。ユーモアと機智に富んだ説法で、ブツダの根本の教えを紹介。冥想実践の指導も行う。05年シャム派日本大サンガ主任長老に任命される。06年国内3カ所に戒壇を設立。NHK「こころの時代」出演。朝日カルチャーの講師などでも活躍。著書に『ブツダの実践心理学 アビダマ講義シリーズ』『怒らないこと』『サンガ』『仏教は心の科学』『希望のしくみ』『長老孟司氏との対談。宝島社』『原訳 法句経(ダンマバダ)一日一悟(佼成出版会)』『ブツダー大人になる道(筑摩書房)』他多数。